

コロナウイルスを複製する原因分子を発見！

ライセンス契約を受けていただき 本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

SARS-CoV-2が産生するsvRNAの存在、分子機構を明らかにし、その阻害剤も開発しました。

◆背景

ウイルスの遺伝子発現や複製、感染後の発病のメカニズムの解明は治療法確立のために重要です。過去にはSmall virus RNA(svRNA)と呼ばれる、宿主やウイルス自身の遺伝子発現を制御する存在が確認されています。例えばSARS-CoV-1のゲノムからもsvRNAが複数見つかっています。しかし、SARS-CoV-2が産生するsvRNAの報告はないため、それらを明らかにすることが必要でした。

◆発明概要と利点

本発明者らは、SARS-CoV-2が産生する自身を複製するポリヌクレオチドの塩基配列を特定し、その中で特に効果的な配列として、下記の配列1~3を特定しました。

該当配列（1~3塩基範囲の置換/欠失等が生じた塩基配列、60%以上の相同性を有する配列を含む）いずれかを含むポリヌクレオチドを構築する技術を確立した事で、同ポリヌクレオチドや同模倣物質の大量培養を通じてのSARS-CoV-2ワクチンの開発、同ポリヌクレオチドに対するsvRNA阻害剤の開発を通じて、SARS-CoV-2予防剤/治療剤の開発が可能となりました。

配列1	aagtgaatc ataggataca agg
配列2	cttttcttg cactgataac actcgcta
配列3	gtgagcttta tcactaccaa gagt

◆開発段階

- 基礎研究を完了し応用研究段階。

◆適応分野

- ワクチン開発
- 創薬

◆希望の連携形態

- 実施許契約
 - オプション契約
(非独占/独占)
- ※本発明は京都大学から特許出願中です。

◆お問い合わせ先

京都大学産学連携担当
株式会社TLO京都

〒606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学国際科学イノベーション棟3F
(075)753-9150
licensing_ku@tlo-kyoto.co.jp